

法人本部

企画課管理用 管 — C — 2

推進主体	学習院アーカイブズ
責任者	学習院アーカイブズ室長

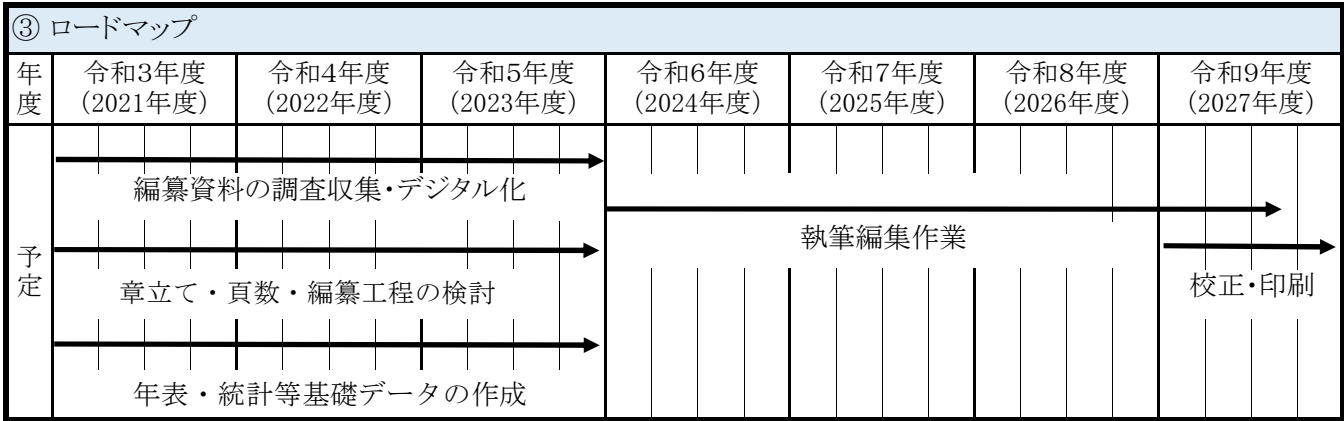
分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管	—	C	創立150周年記念誌の編纂	令和 4 年度	令和 9 年度	なし

① 目的・内容

創立150周年記念事業として、過去と現在の学習院の足跡を記録に残し、未来に向けて「これまでの歴史や伝統に基づいた本質的なもの」(学習院VISION)を内外に示すため、記念誌を編纂・刊行する。『学習院百年史』で叙述された以降の1970～2020年代までを中心に、写真・図版を使って院全体や各科の動向、各時代の学生生徒の姿を紹介し、卒業生はじめ多くの人々に親しみやすい構成・内容とする。すでに『学習院百年史』で取り上げられた時代についても、『百年史』編纂以降に収集された新たな資料や写真を紹介する。令和3～5年度まで、(1)必要な史資料の収集・整理・デジタル化、(2)記念誌章立ての検討 (3)年表等基礎データの作成を進める。令和6年度に執筆編集作業を本格化する。

② 到達目標(数値目標／定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

令和9(2027)年度中の記念誌刊行



④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称	指標の定義(計算式/説明)						
1							
直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	
目標							
実績							
2							
直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	基礎作業として資料の調査収集・デジタル化と、年表・統計等の作成をすすめる。また、記念誌の章構成および執筆編集体制をはじめとする編纂工程の検討を行う。令和6年度から執筆編集作業をスムーズに開始するためには、令和5年度中に執筆編集担当ならびに印刷業者を選定する必要があるため、刊行物の形状・章構成ならびに総頁数・発行部数等について大要を決定する。	年表については、定期刊行物他諸資料から必要事項を抽出する作業を進めた。また1970～2000年代に広報用に撮影された写真フィルムのデジタル化を実施し、年代や被写体情報を整理した。デジタル化した画像データは、150周年記念誌ほかさまざまな用途に利用される見込みである。 記念誌の執筆編集作業については、担当業者の選定に参加した。章構成および執筆編集体制をはじめとする編纂工程については、今後創立150周年記念事業統括部が示す方針のもとに具体化させる必要がある。
令和5年度 (2023年度)	引き続き資料の調査収集・デジタル化と、年表・統計等の作成をすすめる。とくに各科・各部署に所蔵される写真の調査を行い、記念誌の掲載候補となる材料を収集する。 北別館に編纂室が設置され、令和6年度からの執筆編集作業本格化にむけて、創立150周年記念事業統括部および担当業者との検討をさらに進め、記念誌の章構成・執筆編集体制を確立する。	創立150周年記念事業統括部・委託業者と協議のうえ、記念誌の令和9年刊行に向けてスケジュール・制作予算概算を策定した。北別館に編纂室を設置し、編纂に向けての基礎作業を進めた。年表作成では1990年代以降の法人や各科の動向について事項の抽出を行った。各科・部署が所蔵する写真の調査を実施し、とくに広報課所蔵の2000年代以降撮影写真の収集と整理につとめた。また『学習院大学五十年史』『学習院大学の50年』のデジタル化を実施した。 次年度からの執筆作業開始に向け、記念誌の章構成・具体的な作業の進め方について委託業者との協議を進めた。
令和6年度 (2024年度)	記念誌の執筆、レイアウトならびに編集作業を開始する。委託業者と学習院アーカイブズとの共同で作業を進め、学習院アーカイブズは使用する写真や資料の調査・収集・整理を担当する。原稿の執筆・レイアウト他の編集作業は委託業者に依頼する。令和6年度は、仮目次の作成・執筆用資料の整理・掲載候補写真の収集と検討・主要頁のフォーマット作成等を実施する。	
令和7年度 (2025年度)		
令和8年度 (2026年度)		
令和9年度 (2027年度)		